



秩序の破壊がカギ

リオ五輪が始まった。
 この夏のボーナスをもらったサラリーマンが4Kテレビを果たして買っただろうか？
 よほどマニアックな人しか買わなかっただろう。
 現在持っている液晶テレビで、十分綺麗に観られる。
 しかも、韓国製や中国製のテレビと何ら変わりはない。
 ややこしい記憶装置や、ややこしい番組予約などなど...。
 誰が買うのかと思う。
 だから日本の家電業界はおかしくなった。
 技術屋の自己満足の商品は、これからは売れない。
 4万円のテレビで十分なのだ。
 車もしかし、自動運転の電気自動車が走る時代はすぐそこまできている。



好きなパーツをチョイスしてカスタムカーを誰でも作ることが出来るようになり、誰でも自動車メーカーになれる時代がくる。
 50万円で新車が組み立てられたら、誰がトヨタやホンダや日産の車を買うだろうか。
 衣料分野のユニクロにしろ、ファッションセンターしまむらにしろ、衣料専門や価格破壊で市場秩序を破壊し、勝者となった。
生き残るには同業破壊だ！
『市場秩序の破壊がカギだ！』

情報提供: 特別情報紙

買取再販に住宅融資保険 中小事業者の借り入れ円滑化 住宅金融機構



住宅金融支援機構は今年度から、住宅融資保険の取り扱い商品の一つとして「買取再販特定ローン保険」の提供を始めている。中古住宅を買い取り、リフォームした上で売却する事業を手掛ける住宅事業者向けのローンについて保険引受する。適正な市場価値のある担保を有することが条件。保険料率は0.28%。中小事業者が、買取再販に取り組みやすい環境を整備するのが狙い。

情報提供: 住宅新報

楽天、リフォーム本格参入



楽天は、リフォーム事業に本格参入する。

8月5日、ネットショッピングサイト「楽天市場」内に、工事付きのリフォーム商品販売の専用ページを新設。トイレ、バス、キッチン の 3 カテゴリー、774 種類の商品を販売する。今後、内装建材の取り換えリフォームなど、商品の拡充も検討している。

水まわり商品 774 種販売

新設されたページの名称は、「らくらく楽天リフォーム」。ユーザーはここから水まわりリフォーム商品を検索して購入することができる。これまでもエアコン本体と取り付けのセット商品など、工事付き販売は楽天市場で行われていたが、明確に住宅リフォーム商品を打ち出すのは、これが初めてとなる。

商品の特徴は工事費込みの定額制パッケージとなる。「追加工事なし」を売りにする。さらにメーカー保証付き。また専門ページで販売される商品は、「楽天リフォーム認定商品」として、通常の商品より楽天ポイントがアップするなどの特典を付与する。さらに今後は、同社の楽天銀行事業と連携し、住宅ローン借り換えによるリフォーム資金確保、分割支払いなども検討している。

バス・キッチンを施工・販売するのは、リフォーム EC サービス「リリパ」を運営するメガボックス。トイレは「ジュプロ」などのサイトを運営するライフワン（東京都新宿区）が販売する。

楽天市場事業ホームライフ事業部・ジャンル戦略グループの大河原貴宏マネージャーは、狙いを次のように語る。「現在、楽天市場の再編を進め、手付かずの分野の商品の拡充をしている。リフォームは、私たちが着手できていなかった大きなホワイトスペース」

またリフォーム商品を販売するメガボックスの小林哲也社長は、「私たちにとって、大きなチャンス」と期待を寄せる。「当社では、**現場調査、施工すべて含め年間 1 万件以上の現場をこなす**。しかし自社だけですべてのユーザーに周知するのは容易ではない。楽天市場で、当社の BtoC 事業を拡大させていきたい」

情報提供: リフォーム産業新聞